

# 2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社キトー（6409）

2022年10月27日

# 2023年3月期 第2四半期 サマリー

(単位：百万円)	2022/3 期 2Q	2023/3 期 2Q	前期比
売上高	28,293	<b>35,859</b>	+26.7%
営業利益	2,459	<b>2,652</b>	+7.9%
経常利益	2,412	<b>3,196</b>	+32.5%
当期純利益※	1,678	<b>2,156</b>	+28.5%

※親会社株主に帰属する四半期純利益

- 売上高、各段階利益とも過去最高を更新
- 堅調な北米市場が、需要が弱含む他地域の業績をカバー
- 生産効率向上と販売価格見直しにより利益率確保に注力

1

## 2023年3月期 第2四半期 決算報告

2

## 2023年3月期 見通し

3

## 参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（2018年3月期-2022年3月期）
- 事業内容について

# 2023年3月期 第2四半期 決算ハイライト

(単位 百万円)	2021/3期Q2	2022/3期Q2	2023/3期Q2	前期比
売上高	22,041	28,293	<b>35,859</b>	+26.7%
売上総利益 売上総利益率	7,973 36.2%	10,151 35.9%	<b>12,636</b> 35.2%	+24.5%
営業利益 営業利益率	1,247 5.7%	2,459 8.7%	<b>2,652</b> 7.4%	+7.9%
経常利益 経常利益率	1,213 5.5%	2,412 8.5%	<b>3,196</b> 8.9%	+32.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 当期純利益率	166 0.8%	1,678 5.9%	<b>2,156</b> 6.0%	+28.5%
EBITDA =営業利益+償却費	2,709	3,977	<b>4,188</b>	

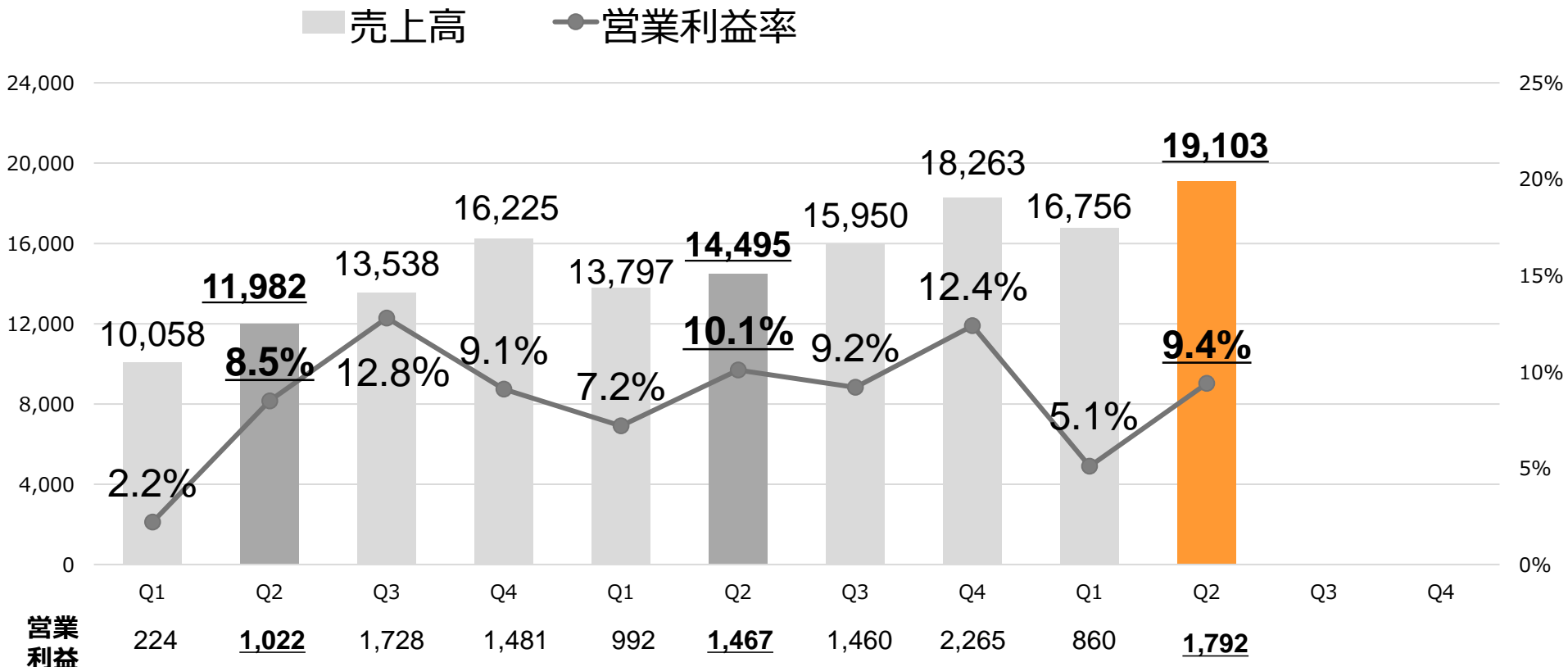
注 為替レート (2022/3期Q2→2023/3期Q2) :

USD 109.8→134.0円 CAD 88.3→103.8円 EUR 130.9→138.7円 RMB 16.7→18.9円

# 売上高および営業利益率（四半期比較）

北米を中心とした堅調な需要環境と、円安影響により、過去最高の業績を記録

(単位：百万円)



営業利益

**2021/3期**  
 売上高 51,805  
 営業利益 4,457

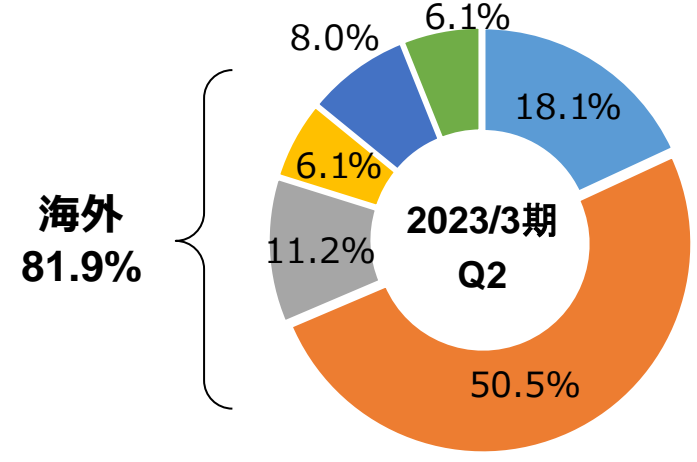
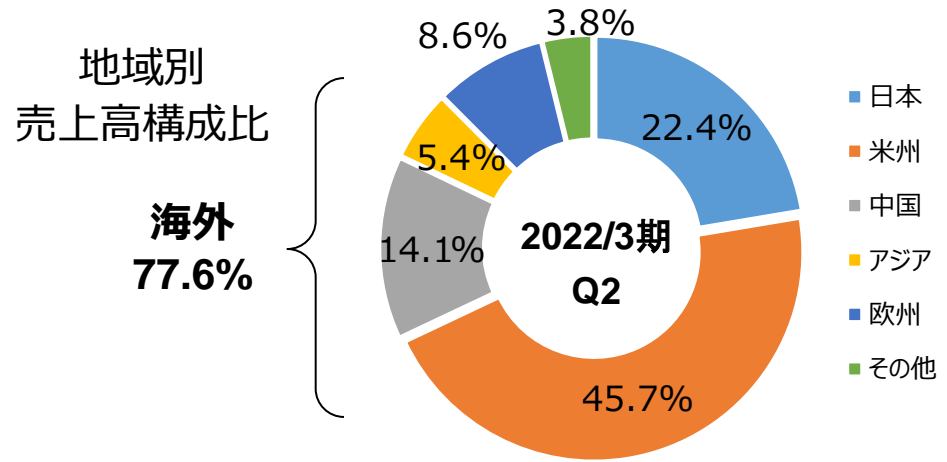
**2022/3期**  
 売上高 62,506  
 営業利益 6,184

**2023/3期**  
 売上高 77,000  
 営業利益 7,000

# 地域別の状況

(単位：百万円)	2021/3期 Q2		2022/3期 Q2		2023/3期 Q2		前期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
<b>売上状況</b>	22,041	100.0%	28,293	100.0%	35,859	100.0%	7,566	26.7%
<b>日本</b>	5,660	25.7%	6,325	22.4%	6,487	18.1%	162	2.6%
<b>米州</b>	9,522	43.2%	12,907	45.7%	18,106	50.5%	5,199	40.3%
<b>中国</b>	3,155	14.3%	3,997	14.1%	4,029	11.2%	32	0.8%
<b>アジア</b>	1,385	6.3%	1,533	5.4%	2,176	6.1%	643	41.9%
<b>欧州</b>	1,412	6.4%	2,444	8.6%	2,884	8.0%	439	18.0%
<b>その他地域</b>	904	4.1%	1,084	3.8%	2,174	6.1%	1,090	100.6%

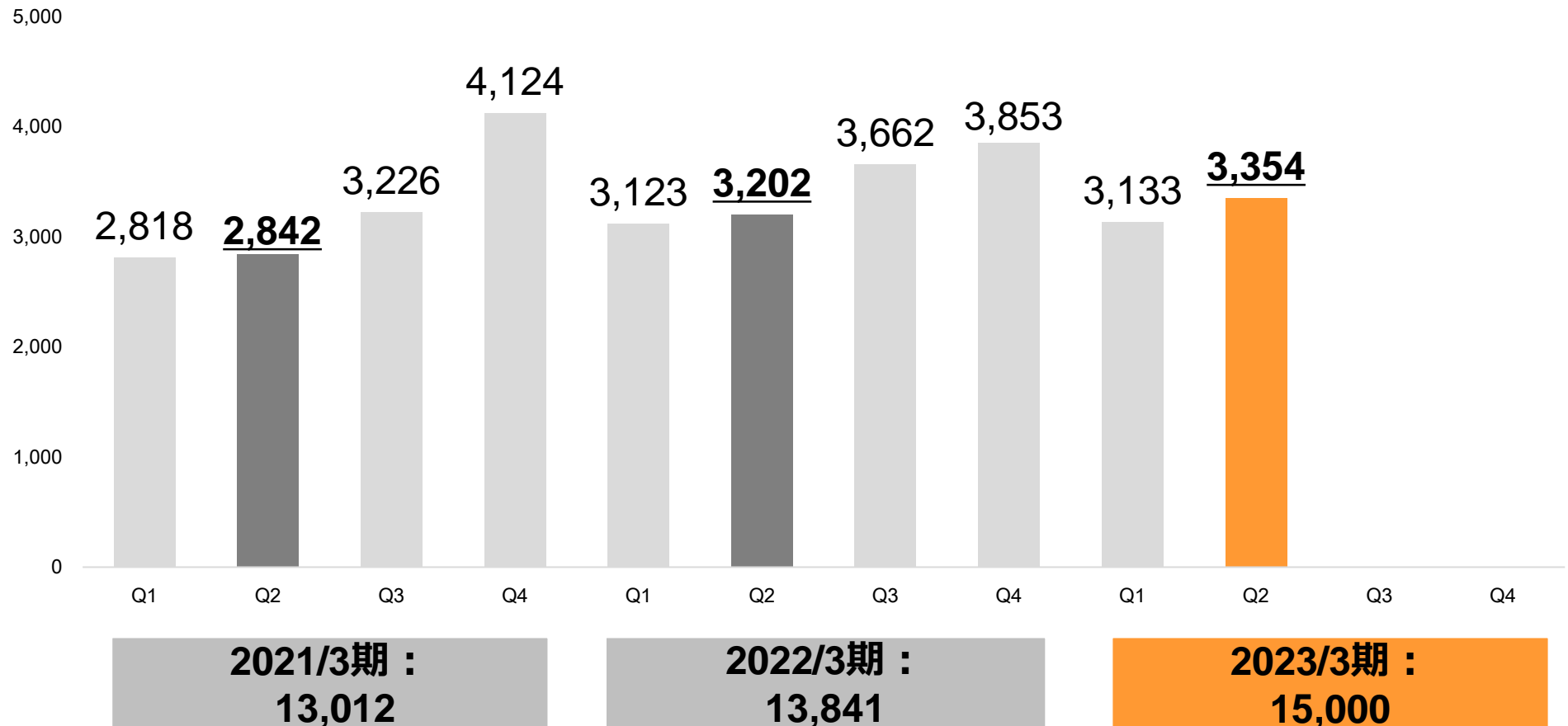
注 為替レート (2022/3期Q2→2023/3期Q2) :  
 USD 109.8→134.0円 CAD 88.3→103.8円 EUR 130.9→138.7円 RMB 16.7→18.9円



# 地域別売上高（日本）

- 半導体、部材等の不足は、中小企業を中心とした生産活動に影響
- 都市部を中心とした、オフィスビル等の建設需要が回復

(単位：百万円)



# 地域別売上高（米州）

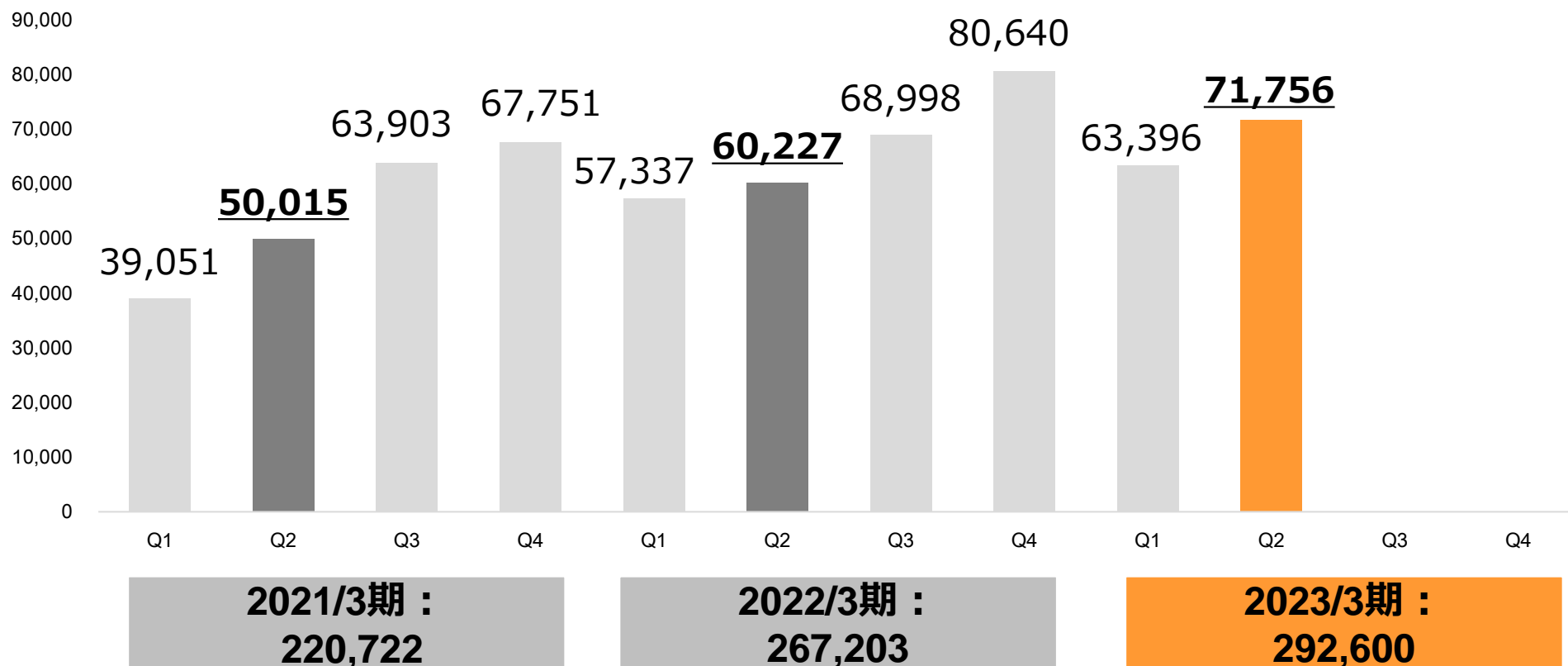
※グラフは米国市場売上高にカナダ及び中南米市場（USDドル換算）を加算した金額の推移

## ◇米州事業の特徴

日本と同様にホイストを中心としたマテハン事業に加えて、ピアレス社のクサリ関連事業で構成

- 民間設備投資、インフラ投資とも、需要が継続
- 物流の混乱も、製品供給をはじめ、サービスレベル維持に注力

（単位：千USD）





# 地域別売上高（中国）

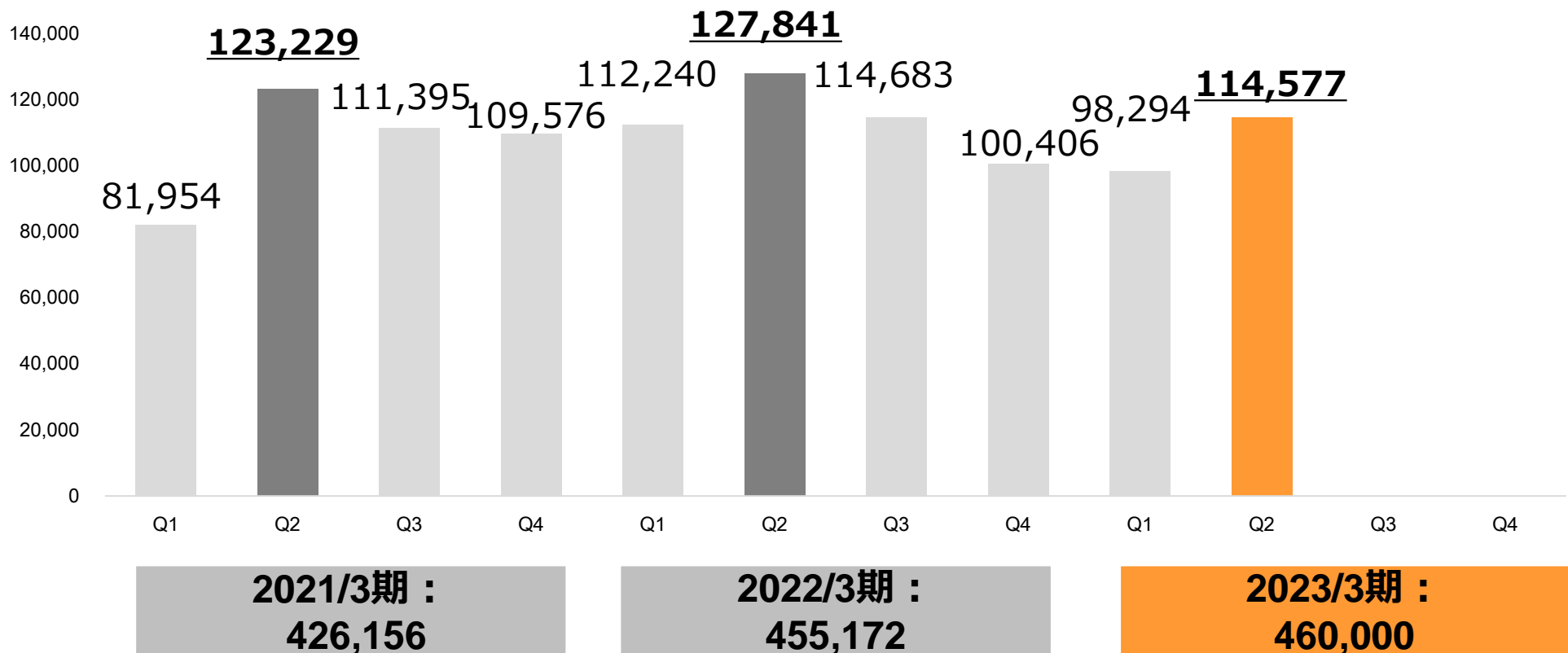
※中国は1-12月決算

◇中国事業の特徴：

中国市場向けロープホイストの製造販売と、日本からの高機能製品の輸入販売が事業の2本柱

- 当局の徹底したコロナ対策が経済活動に影響

（単位：千RMB）



# 地域別売上高（アジア）

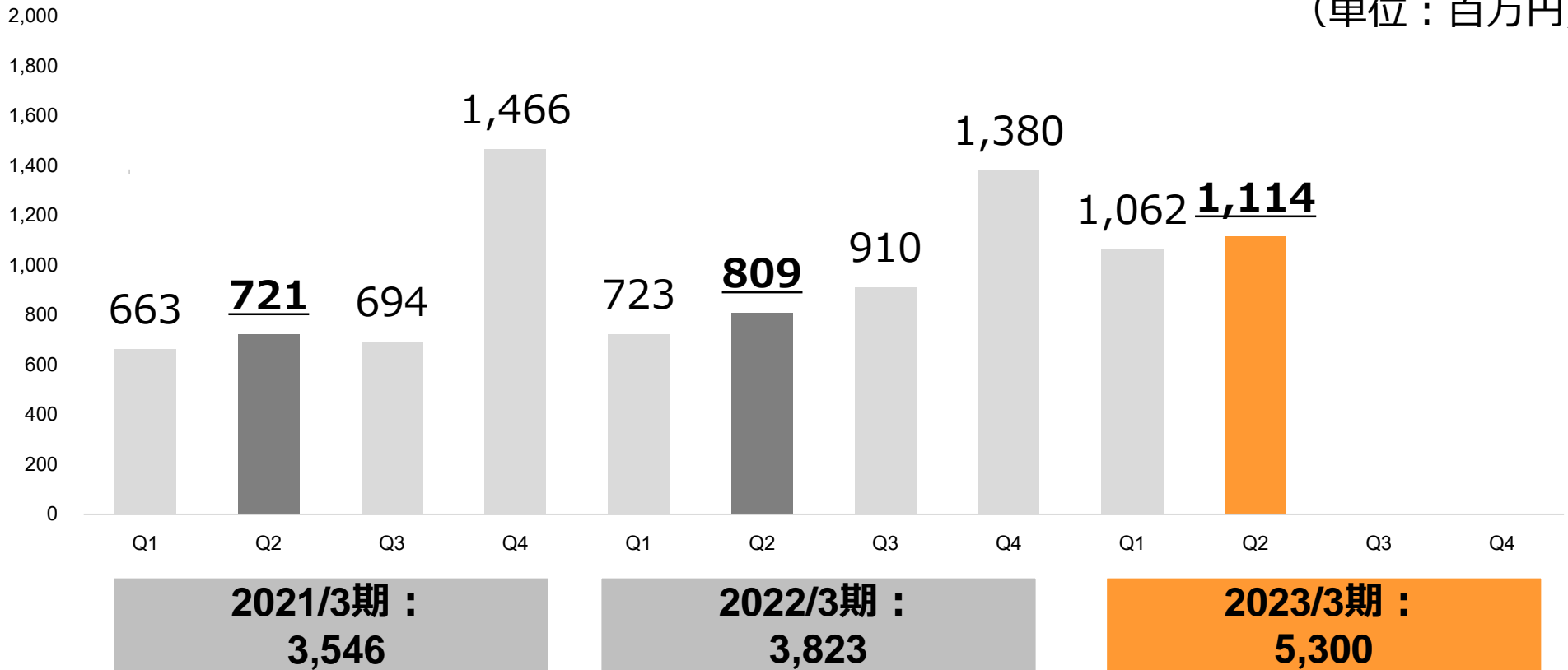
※タイ、韓国、台湾は1-12月決算、インドネシア、インドは4-3月決算

◇アジア事業の特徴：

主軸のタイ、韓国でクレーン事業を手掛ける。事業構造を見直し収益性拡大を図る。

- 経済活動の制約解除とともに、需要環境も回復傾向

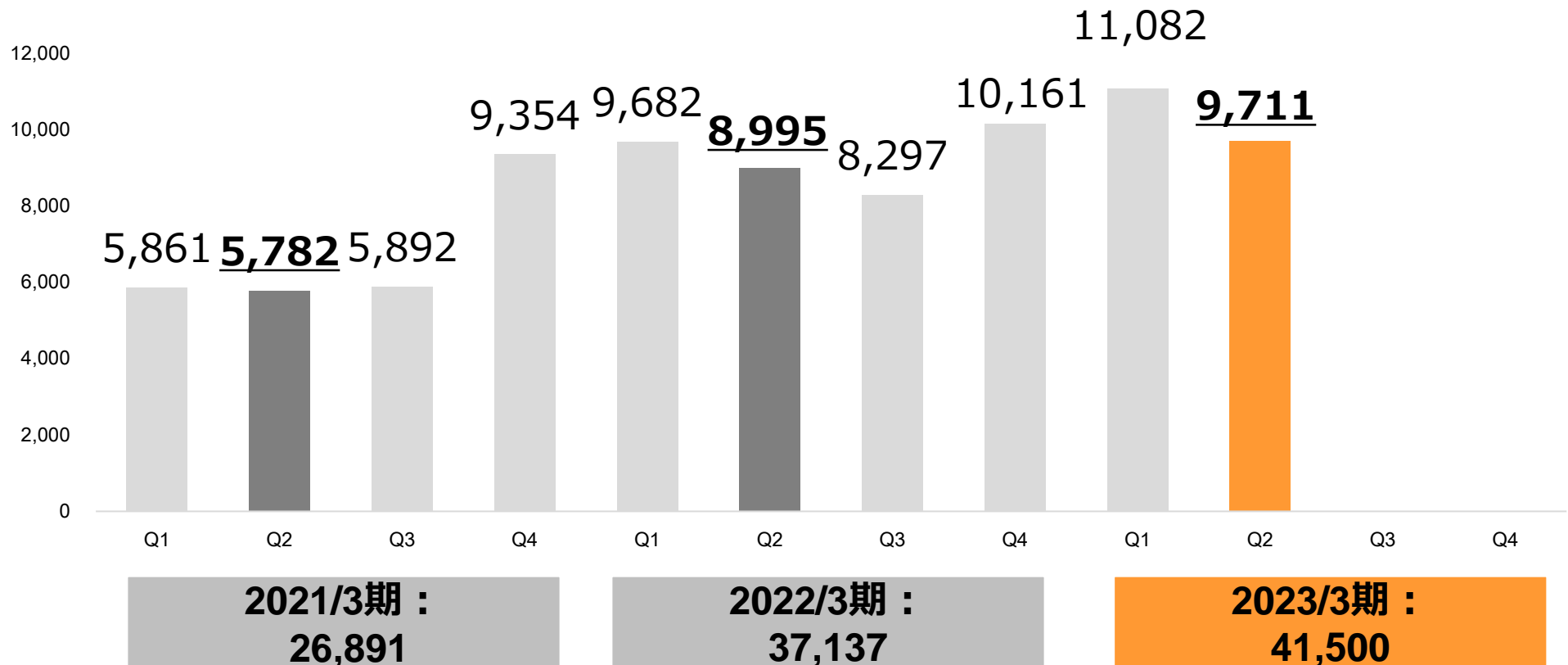
(単位：百万円)



# 地域別売上高（欧州）

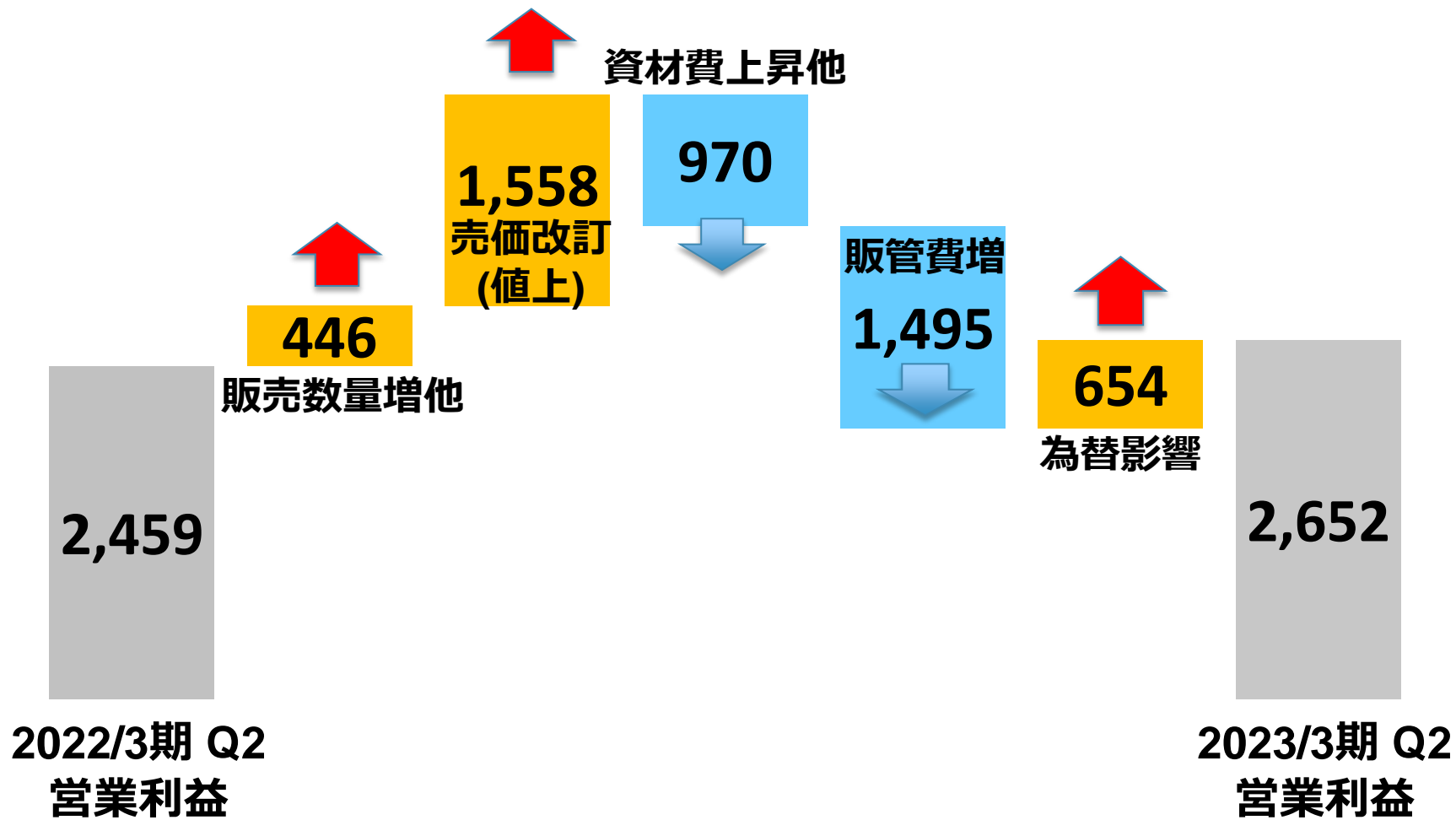
- 欧州グループ4社の強みを発揮し、堅調な需要を着実に捉える
- 資材費、エネルギー価格が高騰、地政学的な懸念が継続

（単位：千EUR）



# 営業利益の比較

(単位：百万円)



# 2023/3期 Q2 連結貸借対照表（前期比）

単位：百万円	2022/3期 Q2	2023/3期 Q2	増減額	単位：百万円	2022/3期 Q2	2023/3期 Q2	増減額
<b>流動資産</b>	42,329	54,070	11,740	<b>流動負債</b>	17,203	26,460	9,256
現金及び預金	10,961	10,243	△ 718	支払手形及び 買掛金	6,504	8,734	2,230
受取手形、売掛金 及び契約資産	10,646	14,451	3,805	短期借入金*	4,908	9,266	4,358
棚卸資産	18,858	27,945	9,087	その他	5,790	8,459	2,668
その他	1,864	1,430	△ 433	<b>固定負債</b>	14,675	13,526	△ 1,148
<b>固定資産</b>	22,100	28,610	6,510	長期借入金	11,007	9,159	△ 1,847
有形固定資産	13,489	18,440	4,950	その他	3,668	4,366	698
無形固定資産	4,740	5,290	549	<b>純資産合計</b>	32,551	42,694	10,143
投資その他の資産	3,869	4,789	1,010	<b>負債純資産合計</b>	64,430	82,681	18,251
<b>資産合計</b>	64,430	82,681	18,251				

\* 1年内返済予定の長期借入金を含む

# 2023/3期 Q2累計（6ヶ月実績）連結キャッシュ・フロー

単位：百万円	2022/3期 Q2	2023/3期 Q2	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	3,736	△292	△4,028
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,983	△2,127	△144
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,697	894	5,592
現金及び現金同等物 に係る換算差額	171	498	327
現金及び現金同等物 の増減額	△2,773	△1,026	1,746
現金および現金同等物 の四半期末残高	10,951	10,243	△708

## <2023/3期の主な内容>

### ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益：	3,191
減価償却費：	1,356
売上債権の減少：	183
棚卸資産の増加：	△3,520

### ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出：	△1,839
無形固定資産の取得による支出：	△326

### ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入による収入	17,307
短期借入金の返済による支出：	△13,643
長期借入金の返済による支出：	△2,016

1

## 2023年3月期 Q2 決算報告

2

## 2023年3月期 見通し

3

## 参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（2018年3月期-2022年3月期）
- 事業内容について

# 2023年3月期 業績予想

- 想定以上の円安の進行と北米需要の継続により期初予想を見直し
- ECサイト強化など、更なる顧客サービス拡充を推進
- 環境に配慮したサプライチェーン、安全な作業環境提供など、広く社会に貢献する

(単位 百万円)	2022/3期	2023/3期 (期初)	2023/3期 (見直し)
<b>売上高</b>	62,506	70,000	77,000
<b>営業利益</b>	6,184	6,500	7,000
営業利益率	9.9%	9.3%	9.1%
<b>経常利益</b>	6,415	6,400	7,100
経常利益率	10.3%	9.1%	9.2%
親会社株主に帰属する <b>当期純利益</b>	4,563	4,200	5,000
当期純利益率	7.3%	6.0%	6.5%
<b>EBITDA</b> =営業利益+償却費	9,148	9,400	9,900
<b>設備投資</b>	4,523	5,800	5,800

注 2023/3期想定為替レート (期初予想→見直し予想) :

USD 120.0→133.8 CAD 100.0→104.2円 EUR 135.0→136.2円 RMB 20.0→19.5円



**日本** 売上予想 15,000百万円（前期比+8.4%）

- 市場環境**
- 都市開発、公共工事に伴うインフラ関連工事が顕在化
  - 中小企業を主体とした景気回復に期待
- 取り組み**
- 専任営業による大型物件への営業力強化
  - リプレイス需要の着実な取り込み
  - ECサイトの拡充・推進によるさらなる顧客サービスの向上

**米州** 売上予想 39,500百万円（前期比+31.6%）

- 市場環境**
- 民間、インフラ関連投資ともに需要が継続
  - 資材費高騰、物流混乱、および今後の需要動向に注視
- 取り組み**
- 競合との差別化を図り、シェアUPと市場拡大との相乗効果を狙う
  - 販売価格の見直し、製品の安定供給と顧客サービス維持に注力

## 中国 売上予想 9,200百万円（前期比+18.8%）

- 市場環境**
- 環境、品質に対する意識の高まりによりシェア拡大傾向
  - 徹底したコロナ対策による経済活動の停滞
- 取り組み**
- 安全価値の訴求による差別化戦略強化

## アジア 売上予想 5,300百万円（前期比+38.6%）

- 市場環境**
- 韓国の液晶関連需要は回復傾向
  - 長期に渡る経済活動の足踏み状態からの脱却
- 取り組み**
- クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化
  - タイ、韓国における顧客基盤拡大を推進

## 欧州 売上予想 5,600百万円（前期比+15.5%）

- 市場環境**
- 地政学的な懸念はあるも、需要動向は堅調
  - エネルギー、資材価格高騰の影響に注視
- 取り組み**
- グループ会社間連携による相乗効果で、さらなる事業拡大

# 2023年3月期 業績予想 (地域別)

(単位：百万円)	2022/3期		2023/3期 (期初予想)		2023/3期 (見直し予想)	
		構成比		構成比		構成比
<b>売上状況</b>	62,506	100.0%	70,000	100.0%	<b><u>77,000</u></b>	100.0%
<b>日本</b>	13,841	22.1%	15,000	21.4%	15,000	19.5%
<b>米州</b>	30,025	48.0%	32,500	46.5%	<b><u>39,500</u></b>	51.3%
<b>中国</b>	7,747	12.4%	9,200	13.1%	9,200	11.9%
<b>アジア</b>	3,823	6.1%	5,300	7.6%	5,300	6.9%
<b>欧州</b>	4,848	7.8%	5,600	8.0%	5,600	7.3%
<b>その他地域</b>	2,220	3.6%	2,400	3.4%	2,400	3.1%

注 2023/3期想定為替レート (期初予想→見直し予想) :

USD 120.0→133.8 CAD 100.0→104.2円 EUR 135.0→136.2円 RMB 20.0→19.5円

1

2023年3月期 Q2 決算報告

2

2023年3月期 見通し

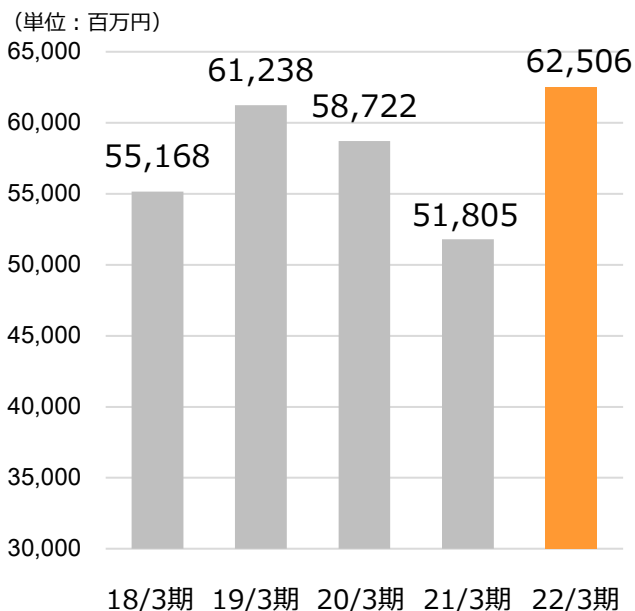
3

**参考資料**

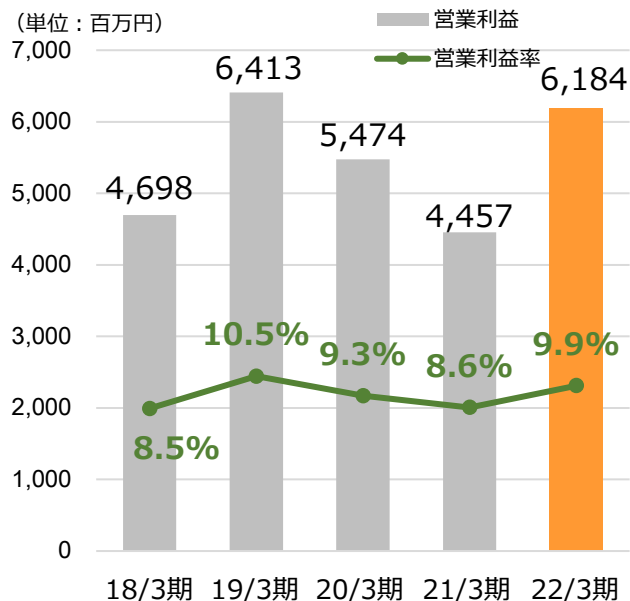
- 過去5期分の業績・財務情報（2018年3月期-2022年3月期）
- 事業内容について

# 業績・財務情報

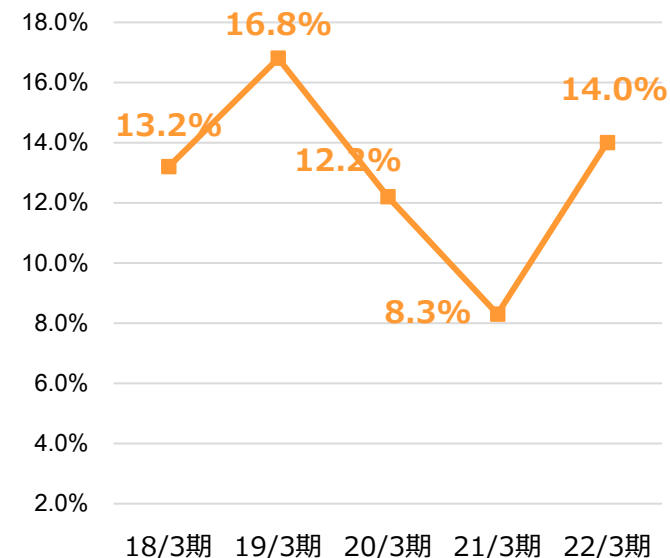
## 売上高



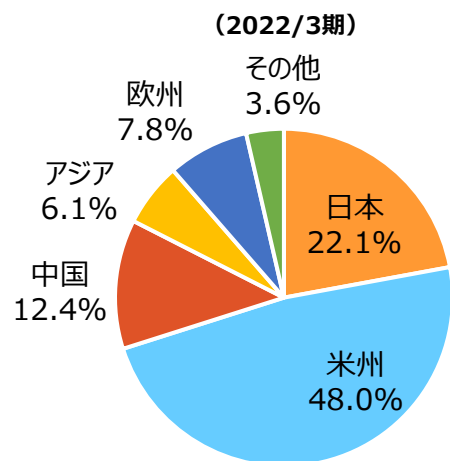
## 営業利益・営業利益率



## ROE



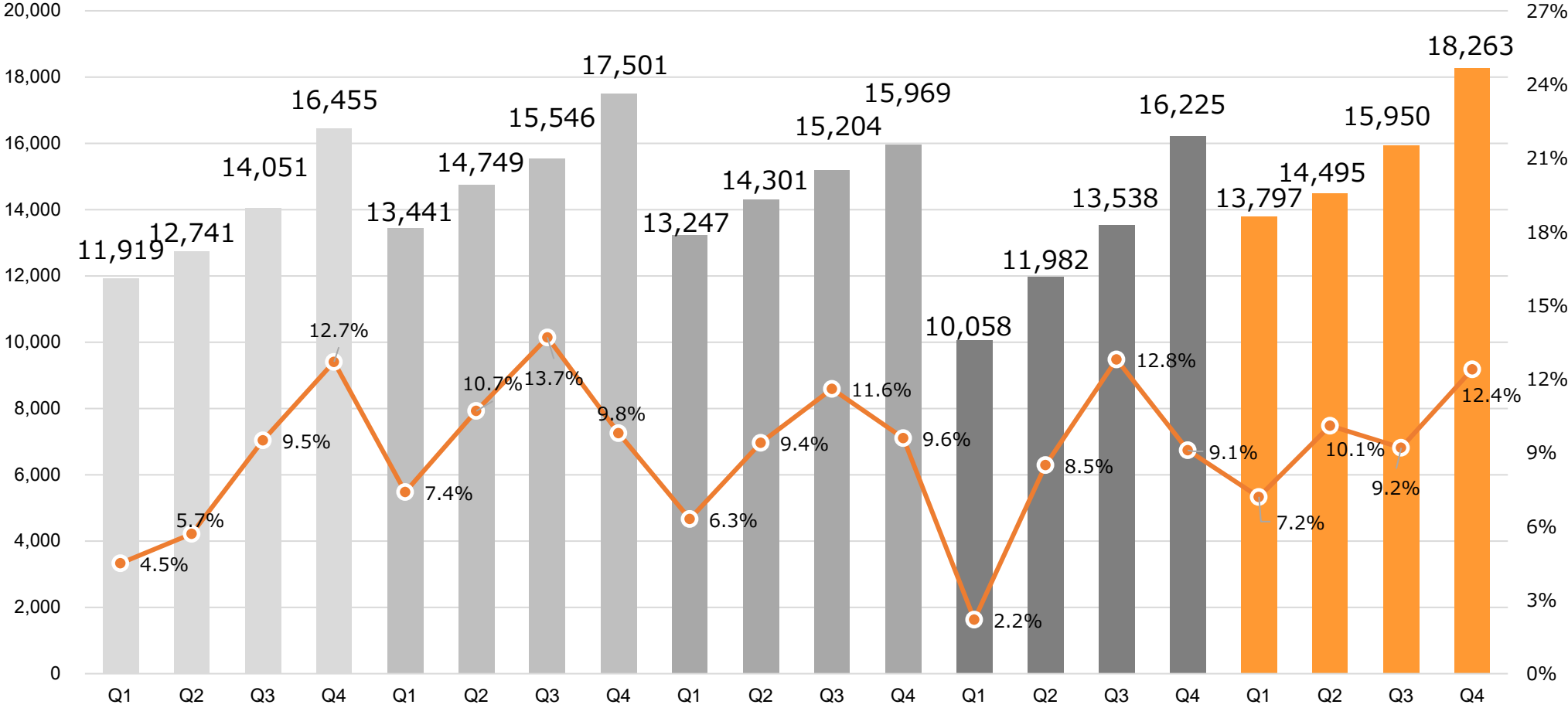
## 地域別売上高比率



	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期
海外比率	76.0%	73.6%	74.2%	74.9%	77.9%
為替平均レート					
USD	110.9円	110.9円	108.7円	106.1円	112.4円
CAD	86.5円	84.6円	81.8円	80.3円	89.7円
EUR	129.7円	128.4円	120.8円	123.7円	130.6円
RMB	16.6円	16.7円	15.8円	15.5円	17.0円
設備投資額(百万円)	1,411	1,416	1,689	2,504	4,510
減価償却費(百万円)	2,116	2,470	2,711	2,697	2,647

# 売上高 及び 営業利益率 (四半期比較)

(単位：百万円)



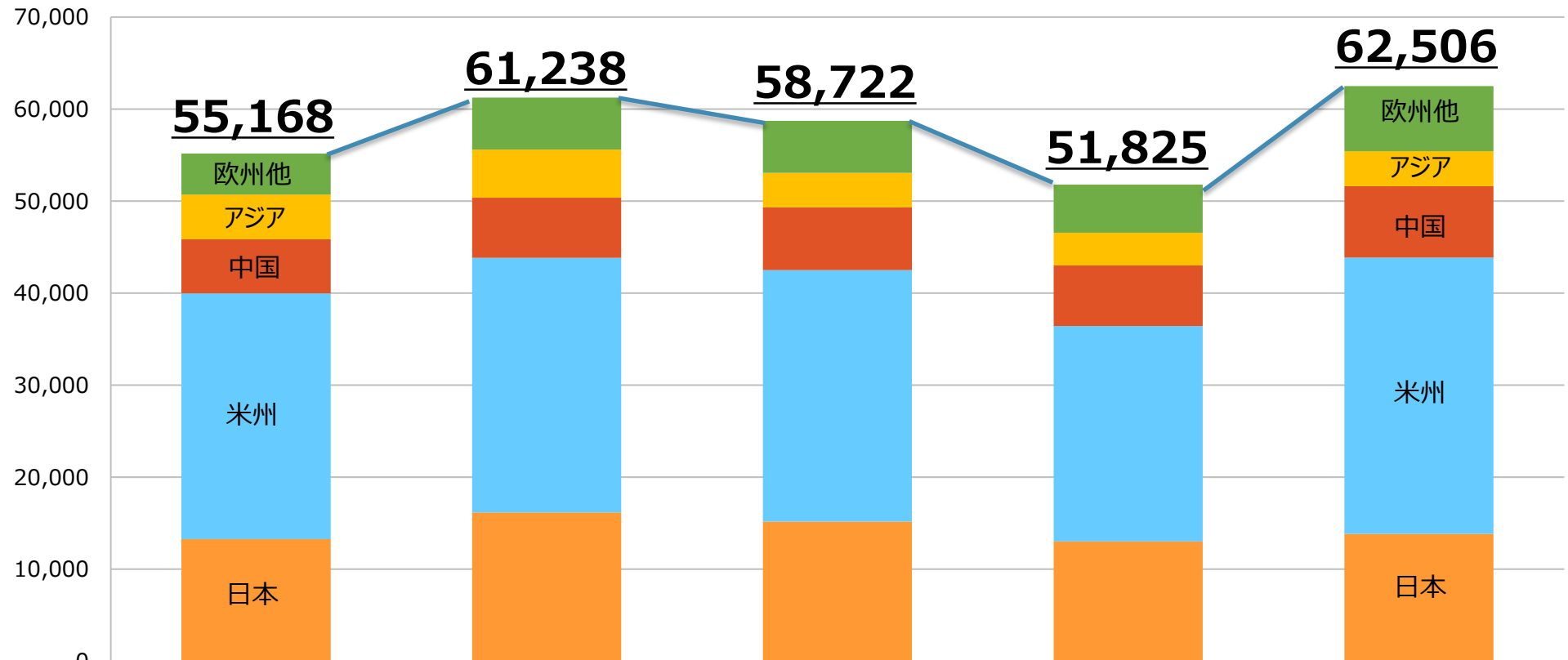
営業利益

538 730 1,338 2,092 992 1,572 2,131 1,717 837 1,339 1,769 1,526 224 1,022 1,728 1,481 992 1,467 1,460 2,265

2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期
売上高 55,168	売上高 61,238	売上高 58,722	売上高 51,805	売上高 62,506
営業利益 4,698	営業利益 6,413	営業利益 5,474	営業利益 4,457	営業利益 6,184

# 地域別売上高推移

(単位：百万円)



	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期
■ 欧州他	4,465	5,634	5,663	5,239	7,068
■ アジア	4,837	5,239	3,729	3,546	3,823
■ 中国	5,903	6,539	6,822	6,596	7,747
■ 米州	26,700	27,663	27,332	23,409	30,025
■ 日本	13,261	16,162	15,174	13,012	13,841

---

# 事業内容



## モノを持ち上げ、運び、固定する作業に不可欠な、 マテリアルハンドリング機器の リーディングカンパニー



**経済の発展段階に応じた需要**

**特定の業界の動向に依存せず**

**成熟製品でありながら成長産業**

## ■ クレーン

ホイストとの組合せで3次元の動きを実現



## ■ ホイスト（巻上機）

主力はクサリ（チェーン）式（電動・手動）  
ワイヤロープ式もラインナップ（電動）  
（中国においてはロープ式が主力）



## ■ ビローフックデバイス （吊り具）

ホイストで荷物を吊り上げる際の  
中間アタッチメント



## ■ 各種クサリ製品

運搬・移動・固定・牽引  
船舶、農林業、タイヤチェーンなど





# 顧客ニーズの拡大



## “KITO” = “信頼のブランド”

### 製品力

耐久性	高性能
安全性	操作性

### 技術力

顧客の複雑なニーズへの高い技術対応力（エンジニアリング）

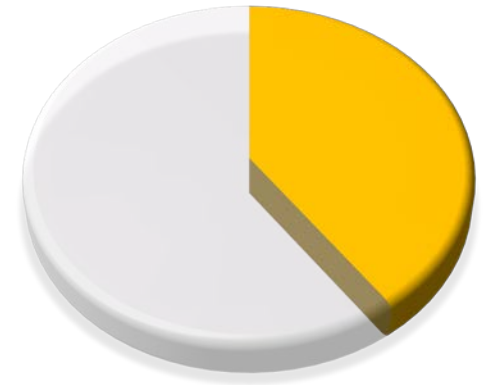
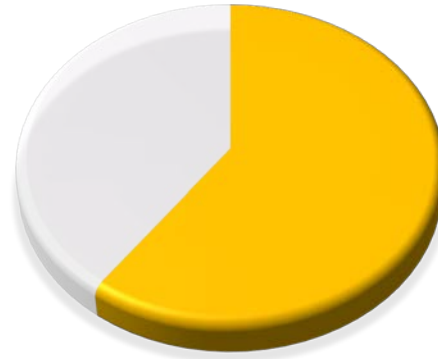
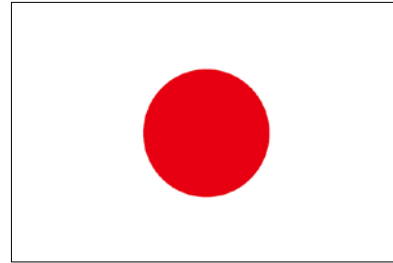
### サービスネットワーク

広範なネットワークによる顧客満足度の高いサービスを実現



高付加価値製品・サービスの提供により差別化を実現  
高品質市場での高い評価

# 信頼に基づく高いシェア

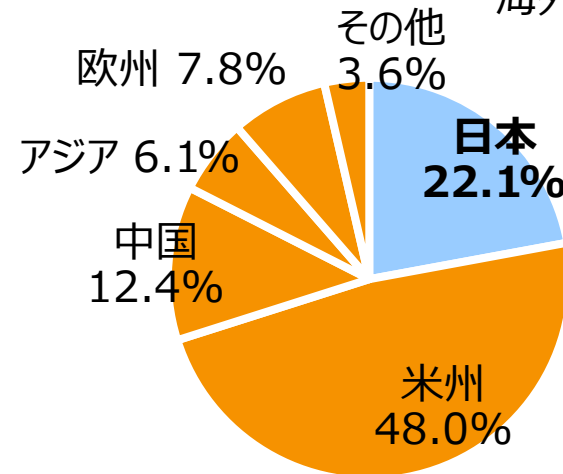
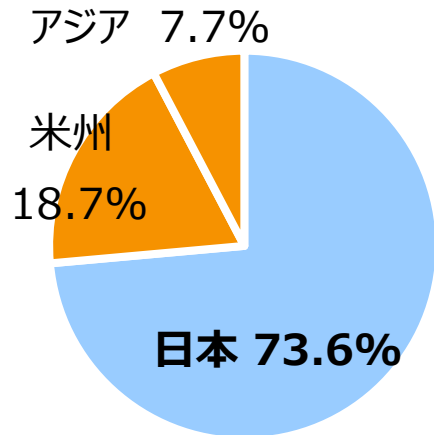


# 海外市場での成長

- 海外市場での成長により、地域分散の効いた事業ポートフォリオ構築
- 特定地域の需要動向に振られることなく、着実な成長を実現

FY2000 売上高227億円  
海外売上比率 26.4%

FY2021 売上高625億円  
海外売上比率 77.9%



単位: 10億円

